

長崎検定

一級さん

Vol.8

鹿児島と長崎と

福田百岐子さん

合格率四・八％。長崎歴史文化観光検定の最難関を突破した一級ホルダー。その卓越した識見には、なにやら一言ありそうです。
みづくはらんに寄稿願いました。

昨年十月、鹿児島市を訪れる機会に恵まれました。約二〇年ぶりです。九州新幹線『つばめ』は、とても快適でしたし、ウオーターフロントが再開発されて、公園・商業施設・水族館などが美しく整備され、驚きの連続でした。時まさに『篤姫ブーム』の真っ只中で、街に活気があふれていました。

そのような中、一番印象に残っているのは石橋記念公園です。市の中心部を流れる甲突川には、かつて五つの石橋が架けられていましたが、洪水対策の河川改修にともない、西田橋・高麗橋・玉江橋の三橋がこの公園に移設されました。江戸時代の長崎で開花した石橋の技術が、熊本で磨きをかけられ、鹿児島に伝わったといわれています。西田橋は、参勤交代の列が通る、城下の玄関口として薩摩藩の威光を示す橋であり、『篤姫』でもロケが行なわれました。

長崎の石橋群は、わが国石橋文化の発祥の地です。眼鏡橋は、昭和五十七年の

長崎大水害で大きな被害を受けたものの、翌年復元され、美しさ・技術の確かさを見せてくれます。

気になるのは、四半世紀にわたって放置されている、市指定有形文化財の阿弥陀橋です。石材は、市南部の市有地で保管されているものの、橋本来の姿を取り戻す日が待たれます。

長崎検定を受検するにあたり、私を助けてくれたのは、テレビとさるくコースマップでした。新聞のテレビ番組欄で、長崎学に関連がありそうなタイトルを見つけると、すかさず録画予約をし、後日繰り返し見ました。マップも全コースを取り揃え、さながら、『バーチャルさるく』を楽しみました。

『百聞は一見にしかず』と申しますが、長時間の外歩きが困難な私は、『さるくい』ていない異端者として受検しました。出題は多岐にわたり、難問が続きます。マップは歴史や文化を丹念に教えてくれ、

私の目となり足となったのだと再認識し、感謝しています。

来年のNHK大河ドラマが『龍馬伝』に決まりました。わが長崎にも、昨年の鹿児島の賑わいが再現されるかと思うと、期待はふくらむばかりです。

長崎は、和華蘭文化といわれる独自の文化が息づく街です。知れば知るほど興味がわく、魅力にあふれる街です。多くの方がこの魅力にふれることを望みます。

アイラブ 長崎。



【プロフィール】
五島市生まれ。
長崎市在住、約30年。
料理と読書を趣味とする専業主婦。